

2025 年 10 月 23 日

各 位

会 社 名	ポ ー ル ト ウ ウ イ ン ホ ー ル デ ィ ン グ ス 株 式 会 社
代表者名	代表取締役社長 橘 鉄 平 (コード番号：3657 東証プライム)
問合せ先	取締役 CFO 山 内 城 治 (TEL：03-5909-7911)

当社連結子会社（ポールトゥウィン株式会社）による生成 AI を活用した 全自動型 E2E テスト設計システムの開発・業務導入に関するお知らせ

当社の連結子会社であるポールトゥウィン株式会社（本社：愛知県名古屋市中区、代表取締役 CEO：橘 鉄平、代表取締役 COO：志村 和昭）は、生成 AI による完全自動型の E2E テスト設計システムを開発し、社内での業務利用を開始したことをお知らせいたします。

本技術は、急速に短期化が進むソフトウェア開発の開発サイクルにおいてボトルネックとなる、品質保証のスピードと精度のトレードオフ解消に繋がるものであり、当社グループが長年にわたり培ってきたゲームデバッグおよびソフトウェアテストの知見を基盤として開発が実現したものです。

本件が今期の業績予想に与える影響は軽微に留まる見込みですが、当社グループの中長期的な競争優位性の向上に繋がるものと考えております。当社グループは今後も様々な取り組みを通じて、継続的な企業価値の向上に取り組んでまいります。

本件の詳細な内容については、添付資料をご参照ください。

- ・ポールトゥウィン、生成 AI による完全自動型 E2E テスト設計システムを開発・業務導入 ～AI とテスト知見の融合で品質保証のボトルネックを突破～（全 5 枚）

以 上

ポールトゥウィン、生成 AI による完全自動型 E2E テスト設計システムを開発・業務導入 ～AI とテスト知見の融合で品質保証のボトルネックを突破～

サービス・ライフサイクルの課題解決を支援するポールトゥウィン株式会社（本社：愛知県名古屋市、代表取締役 CEO：橘 鉄平、代表取締役 COO：志村 和昭、以下「ポールトゥウィン」）は、生成 AI による完全自動型の E2E テスト設計システムを開発し、社内での業務利用を開始したことをお知らせします。本システムはソフトウェアテスト業務用の AI システムで、生成 AI がシステムコードを解析して E2E テストの設計を完全に自動生成するという点で、市場に新たな選択肢を提供していくソリューションだと自負しております。

従来、専門エンジニアが多くの時間を費やしていたテスト設計を AI が自動化することで、開発現場の生産性を大幅に向上させることが可能です。近年、ソフトウェア開発の現場ではアジャイル開発や生成 AI の普及により、開発サイクルが急速に短期化しています。その一方で、品質保証のスピードと精度をいかに両立するかが大きな課題となっており、本技術はそのボトルネックを根本から変える可能性を秘めています。

ポールトゥウィンは、長年にわたり培ってきたゲームデバッグおよびソフトウェアテストの知見を基盤に本システムを開発。テストエンジニアがより創造的かつ付加価値の高い業務に集中できる環境を実現します。

なお、E2E テスト（End-to-End テスト）とは、システム全体の流れをユーザー視点で検証するテストのことです。単体テストや結合テストのように個々の機能を対象とするのではなく、実際の業務フローや利用シナリオに沿ってシステム全体が正しく動作するかを確認する工程を指します。

The screenshot displays the 'AUTO TEST PLANNER' application. On the left is a sidebar with navigation icons and buttons like '確認設定', 'アクセス解析', and 'ソース解析'. The main area features a table with test scenarios. The table has columns: No, 大項目 (画面), 中項目 (エリア), 小項目 (対象項目), テストパターン, テスト手順, and 期待結果. It lists 9 scenarios for a 'ホーム' (Home) page, covering actions like clicking links, verifying text, and checking for errors. On the right, a chatbot window is visible with the message: 'Hello! あなたの作業をお手伝いするアシスタントです。' (Hello! I am an assistant to help with your work.)

No	大項目 (画面)	中項目 (エリア)	小項目 (対象項目)	テストパターン	テスト手順	期待結果
1	ホーム	宿泊予約リンク	リンクをクリックして正しいページに遷移することを確認する	リンクをクリック	1. ホームページを開く 2. 宿泊予約リンクをクリックする	宿泊予約の詳細や予約フォームが表示されるページに移動する
2		宿泊予約リンク	リンクのテキストが正しく表示されていることを確認する	ページを表示	1. ホームページを開く 2. 「宿泊予約」リンクのテキストが正しく表示されていることを確認する	リンクのテキストが「宿泊予約」と表示されている
3		宿泊予約リンク	リンクのスタイルが正しく適用されていることを確認する	ページを表示	1. ホームページを開く 2. 宿泊予約リンクをクリックする	リンクがナビゲーションメニューとして適切にスタイル化されている
4		宿泊予約リンク	リンクのホバー時にカーソルがポインタに変わることを確認する	リンクにマウスオーバー	1. ホームページを開く 2. 宿泊予約リンクにマウスオーバーする 3. カーソルがポインタに変わることを確認する	カーソルがポインタに変わる
5		宿泊予約リンク	リンクが無効な場合の動作を確認する	リンクをクリック (リンクが無効)	1. ホームページを開く 2. 宿泊予約リンクをクリックする	ページ遷移が発生せず、エラーメッセージが表示される
6		宿泊予約リンク	リンクのテキストが変更された場合の動作を確認する	リンクのテキストを変更	1. ホームページを開く 2. 宿泊予約リンクをクリックする 3. リンクのテキストが変更されていることを確認する	リンクのテキストが変更されていることを確認できる
7		宿泊予約リンク	リンクのURLが不正な場合の動作を確認する	リンクをクリック (URLが不正)	1. ホームページを開く 2. 宿泊予約リンクをクリックする	ページ遷移が発生せず、エラーメッセージが表示される
8		宿泊予約リンク	リンクをクリックすると宿泊予約ページに遷移することを確認する	リンクをクリック	1. ホームページを開く 2. 宿泊プラン一覧リンクをクリックする 3. 宿泊予約リンクをクリックする	宿泊予約ページが表示される
9		宿泊予約リンク	リンクが無効な場合の動作を確認する	リンクをクリック (リンクが無効)	1. ホームページを開く 2. 宿泊プラン一覧リンクをクリックする 3. 無効なリンクをクリックする	ページ遷移が発生しない

↑ 生成 AI による自動テスト設計システムの実機画面

実際の画面を用いた開発担当者による解説を以下よりご覧いただけます。

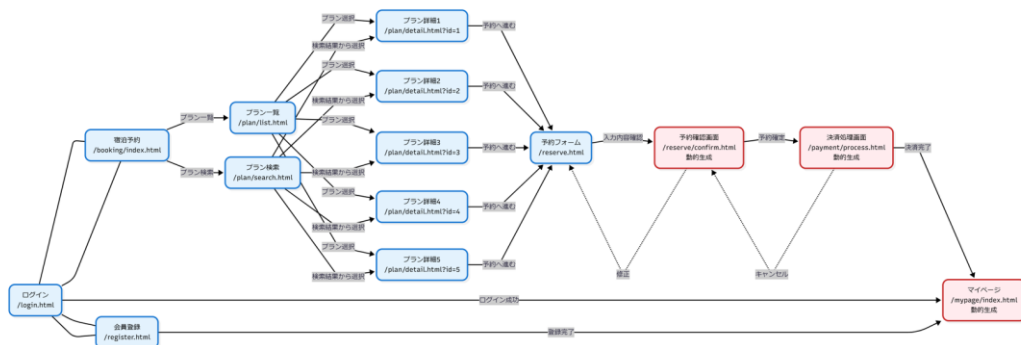
▶ デモ動画（YouTube）：https://youtu.be/2UAC8_YLTkw

生成 AI による自動テスト設計システムについて

■特徴

① AI によるコード解析で動的にテスト設計を自動生成

対象システムのコードを解析し、E2E テストケースを自動的に生成します。シナリオ分岐や例外処理も含め、テストカバレッジを自動で最適化します。



↑ 本システムで自動生成された画面遷移図

② 探索的テスト設計への対応

従来のスクリプト型テストだけでなく、探索的なテストパターン設計にも対応。未知の動作や潜在的リスクの検出を AI が支援します。

③ 手動・自動テスト双方に対応する柔軟性

手動テスト向けの設計書生成と、自動テスト用スクリプト生成の両方に対応し、既存の QA フローにシームレスに統合可能です。

[illegible]

↑ 本システムで自動生成されたテスト項目書（手動テスト用）

■ 技術的位置づけ

この AI システムは、既存の E2E テスト自動設計ツールの多くが限定的なシナリオ生成にとどまる中で、システムコードの解析から探索的テスト設計までを完全自動化する点で独自性を持っています。また、一般的な自動テスト設計ツールの多くは各社独自プラットフォーム内での利用を前提としており、汎用的な自動テスト設計ツールとして実用化したという点において、他の多くのシステムとの差別化を図っています。

さらに、汎用的な生成 AI モデル群における同一条件下でのテストケース自動生成数の比較では、他の生成 AI モデルが数十件前後の出力にとどまるのに対し、本システムでは 251 件を自動生成。汎用モデルを大きく上回る成果を示しました。

この結果からも、本ツールがテスト設計に特化した独自の AI モデルとして、より精緻かつ実用的なテスト設計を可能にする新しいアプローチを実現していることが明らかとなりました。

プロダクト	カバレッジ (30)	設計品質 (30)	実装可能性 (25)	ドキュメント品質 (25)	総合 (110)
PTW	30	30	21	22	103
Product A	12	28	23	15	78
Product B	12	26	23	15	76
Product C	6	24	23	15	68

本評価は4つの指標から構成される：

- ・テストカバレッジ（30点） - 機能網羅度
- ・テスト設計品質（30点） - 論理性と実行可能性
- ・実装可能性（25点） - 自動化対応とデータ品質
- ・ドキュメント品質（25点） - 構造性と可読性

各指標が品質の異なる側面を定量評価し、総合110点満点で判定

↑ 社内検証環境における同一条件下の比較結果（2025 年 10 月 20 日時点、当社調べ）

■ 今後の展望

本システムは、今冬にテストコード生成および補正機能への対応を予定しています。これにより、AI がテスト設計だけでなく、テストコードの自動生成・自動補正までを一貫して実行できるようになり、テストプロセス全体の効率化がさらに進む見込みです。

本システムの業務利用を通じて、テスト設計から実行までのリードタイム短縮や品質保証工程の最適化を実現し、クライアントに対してより高品質かつ迅速な検証サービスを提供してまいります。ポルトウウィンは、AI 活用による生産性向上と品質強化の両立を図りながら、クライアントの開発現場に新たな価値を創出していきます。

VPoAIS（Vice President of AI Strategy）久保雅之

本システムは、ポールトゥウィンが長年にわたり蓄積してきたテスト設計の知見と、最新の生成 AI 技術を融合させた成果です。私たちは、テスト工程における“思考の自動化”に挑戦し、人の経験や直感を AI が補完できる新しいテスト設計のあり方を目指しました。実際の業務利用においては、テスト設計から実行までのリードタイムが大幅に短縮され、テストケースの網羅性も向上しています。これにより、クライアントに提供する検証サービスの品質とスピードの両立が実現できつつあります。今後も AI を活用した効率化にとどまらず、テストエンジニアがより創造的な検証活動に集中できる環境づくりを進め、クライアントの開発現場に新たな価値を提供していきたいと考えています。



ポールトゥウィン株式会社

VPoAIS（Vice President of AI Strategy） 兼 先端技術研究室 室長

久保雅之（くぼ まさゆき）

ポールトゥウィン株式会社 Vice President of AI Strategy（VPoAIS）、先端技術研究室 室長。

早稲田大学大学院修了 修士（国際経営学）。富士通、NTT データ、ヤフー、マイクロソフトを経て起業。複数の企業で戦略部門を歴任したのち、2023 年よりポールトゥウィン株式会社に参加。現在は全社の AI 戦略および新規事業企画を担当。

ポールトゥウィン株式会社について

ポールトゥウィン株式会社は、ゲームデバッグ・ソフトウェアテスト・ネットサポート事業など、IT サービスを主な事業とする会社です。1994 年にゲームデバッグ事業を立ち上げ、創業 5 年で 800%の成長率を達成。以来、ゲームデバッグ事業においてパイオニア的存在として歩み続けています。

また、2022 年 2 月にはグループ会社を吸収合併。E コマース不正対策やカスタマーサポートを通じて多様な Web サービスを支えてきた「ピットクルー」、ソフトウェアテストや品質コンサルティングによる不具合解消に貢献してきた「クアーズ」と共に、新たなスタートを切りました。ゲーム業界、EC 業界を中心として様々なお客様の課題解決に取り組んでまいりました。それらで培った知識とノウハウ、多様な人材を活かして世の中のサービスやプロダクトの品質および価値向上に取り組んでまいります。

【 会社概要 】

社名：ポールトゥウィン株式会社（Pole To Win, Inc.）

本社所在地：愛知県名古屋市千種区今池 1-5-9

代表取締役 CEO：橘 鉄平

代表取締役 COO：志村 和昭

事業内容：デバッグ・ネットサポート・ソフトウェアテスト

設立：1994 年 1 月 20 日

コーポレートサイト：<https://www.ptw.inc/>

サービスサイト：<https://www.service.ptw.inc/>

note：https://note.com/ptw_note

公式 X：https://x.com/Pole_To_Win_

期待通り、
予想以上。PTW

報道関係の方からのお問い合わせ先

ポールトゥウィン株式会社

広報担当：高津 / 大西

MAIL：pr@ptw.inc